

安曇野堀金「れんげの里」づくりプロジェクト

取り組みに至る背景・事業の目的

- 遊休農地の利活用を図る上で有効と思われる「れんげ」を地域に復活させ、安曇野の魅力向上につなげるとともに後作をして、収穫物で地元小学生と世代間交流を図る。
- さまざまな組織や団体が関わり、協働して「農業」に携わることで田園風景を守り、食の安心安全を再認識し地産地消を推進する。

事業内容

- れんげ田の復活・定着
 - ・遊休農地 120a にれんげの花を咲かせる
 - ・れんげ祭り開催 約 600 名参加
北アルプスを背景に、れんげの里のアピールし、安曇野の原風景を大切に作る機運を醸成した
- ヒマワリ畑の育成
 - ・40a にヒマワリ約 7 万本を栽培し、畑の中に迷路を作り夏の新たな名所となる。
- 枝豆
 - ・黒大豆の枝豆を学校給食と福祉施設へ提供
安曇野市堀金給食センター
福祉施設 3 所
- サツマイモの作付
 - ・堀金小、南安曇農業高校、地元育成会とサツマイモの定植、芋掘りを行う。
 - ・安曇野市堀金給食センターへ提供
- カレンダーの作成配布 (500 部)
 - ・れんげの写真を使用し、プロジェクトの周知を図る。



【安曇野の原風景】

事業効果

常念岳を中心とする北アルプスの麓の「れんげの里」をアピールすることにより、「いちばんすばらしい安曇野の風景」を認識していただき、魅力的な景観づくりや元気な農業ができるとともに、世代を越えた交流の実施により、新たなまちづくりができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- ・プロジェクトを定着させるため、持続的に取り組み、事業用地がさらに名所となるよう努めます。
- ・子どもたちが農業に対し理解を深めるよう、子どもたちが好む農作物の作付けを推進します。
- ・景観形成への取り組みの輪を広げるよう、PRをし、さまざまな団体・個人と交わり地域づくりの一翼を担います。

【選定のポイント】

遊休農地を利用した取り組みにより、春は安曇野の原風景であるれんげ田が復活し、夏はヒマワリの名所として、新たな名所が創出され、誘客が図られた。また、地元、小学生、高校生と協働で実施した、さつまいもの定植や収穫体験作業により食育の一翼を担った。

団体名	安曇野堀金「れんげの里」づくりプロジェクトチーム (安曇野市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	電話 0263-71-1560	事業費	1,002,071円
		支援金額	1,002,000円